

使ってもらって学ぶフィールド指向システム・デザイン

Field Oriented System Design Learning by Users' Feedback

町内会グループ (A) Neighborhood Association Group (A)

b1014120 永井陽太 Yota Nagai

1 背景

函館市陣川町にある陣川あさひ町会の現状

- 陣川あさひ町会は参加者が 1000 人にもなるイベントを開催するなど積極的に活動している町会である。

陣川あさひ町会が抱える問題

- イベント情報の投稿に 2 つのツール (Facebook と LINE@) を利用しているので手間がかかる。
- 町民のイベントへの参加申し込み方法が 3 つあるので、町会側での参加者管理作業に時間がかかる。
- イベントに関する緊急連絡 (例えば悪天候による中止の連絡等) が迅速に行えていない。

2 目的

本グループでは「陣川あさひ町会のイベント開催に関する問題を解決するサービスの提供をする」ことを目的と設定した。1.2 の通り、町会ではイベントを開催する上で様々な問題がある。そこで本グループではそれらの問題を解決するアプリケーションを開発する。

3 プロセス

我々は 5 月 12 日に陣川あさひ町会に対してヒアリングを行った。ヒアリングから、背景に記述したような陣川あさひ町会が抱えている問題が明らかになった。5 月 30 日には我々がヒアリングを受けて考案したアプリケーションアイデアを陣川あさひ町会に提案した (第 1 回提案)。ここでは、アプリケーションアイデアへのレビューを受けた。6 月 23 日には第 1 回提案で受けたレビューを我々のアプリケーションアイデアへ反映させ、改善したアプリケーションアイデアを提案した。ここで

は、町民が利用したくなるようなコンテンツを追加して欲しいという要望を得た。

4 制作するアプリケーションについて

我々が開発しているアプリケーション「じぶり」は、陣川あさひ町会が開催するイベント情報の発信、陣川町民によるイベントへの参加申し込み、雨天延期などの陣川あさひ町会役員による緊急連絡が可能となるアプリケーションである。また、この緊急連絡機能を応用すれば、町民への生活情報を発信することも可能である。「じぶり」では、アプリケーション初回起動時に、ユーザを「役員」か「役員以外」かを判別する。次回以降は、この工程は省略する。「町会役員以外」は、イベント情報とお知らせの閲覧と、イベントへの参加申し込みが可能である。「役員」は、「役員以外」のユーザが利用できる機能に加え、役員会議など役員のみで共有したい情報も含めすべての情報を閲覧できる。また、アプリケーション所有者に向けて、イベント情報の発信や緊急連絡を行うことが可能である。

5 今後の課題

我々は、役員によるイベント情報の発信機能、緊急連絡機能、アプリ所有者への通知機能を備えたプロトタイプを作成する。その後、陣川あさひ町会が 8 月 6 日、7 日に開催する「納涼まつり」にてプロトタイプのデモとアンケートを行いプロトタイプを評価して頂く。また、後期ではアプリケーションの開発を進めていきながら、町民がアプリを利用したくなるようなコンテンツの考案と、Facebook と LINE@との連携機能の追加を行っていく。